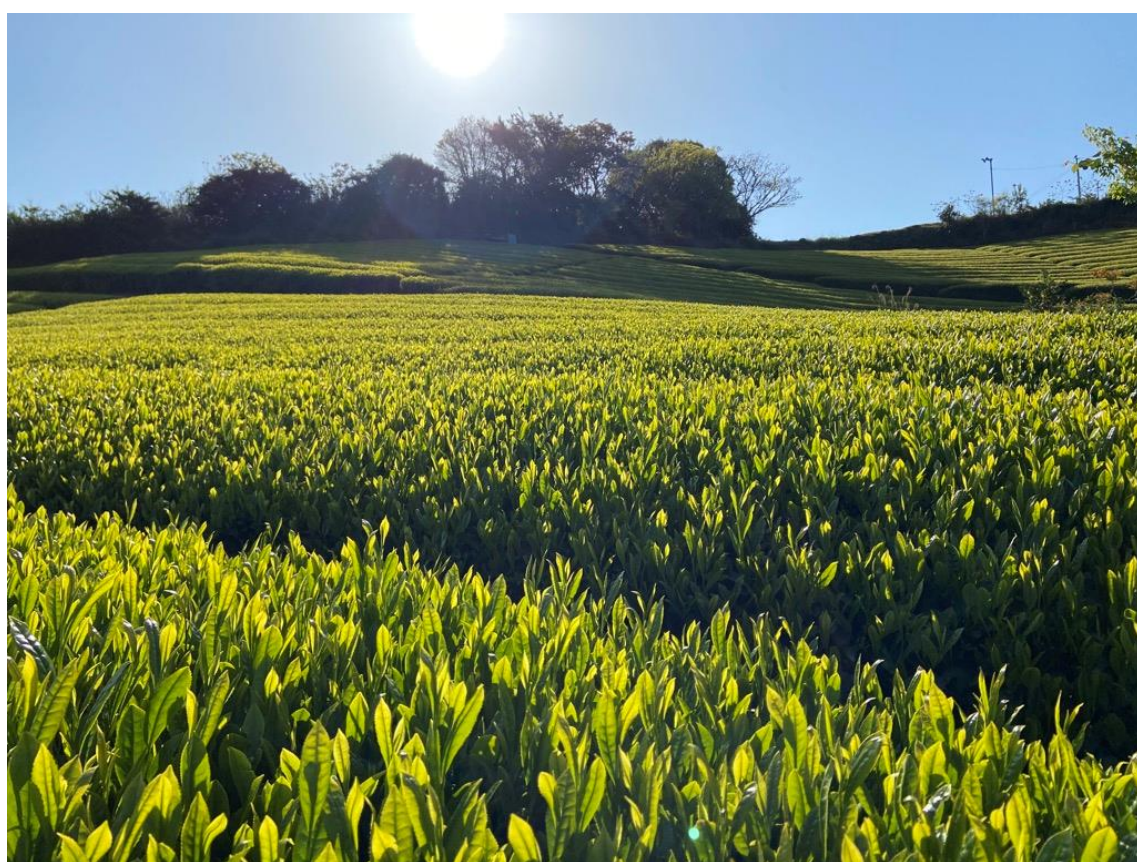


牧之原市茶業振興計画

(令和7年度～令和12年度)



平成27年3月 策定

平成31年3月 改正

令和7年3月 改正

目 次

I 基本方針	・ ・ ・ ・ ・	1
はじめに	・ ・ ・ ・ ・	1
II 目指す姿と茶業振興の5つの柱	・ ・ ・ ・ ・	2
1 目指す姿	・ ・ ・ ・ ・	2
2 茶業振興の5つの柱	・ ・ ・ ・ ・	2
III 茶業振興の5つの柱とその振興策	・ ・ ・ ・ ・	3
1 魅力ある経営体の育成	・ ・ ・ ・ ・	3
現 状	・ ・ ・ ・ ・	3
課 題	・ ・ ・ ・ ・	3
振興策	・ ・ ・ ・ ・	3
(1) 農業者間の情報交換の促進	・ ・ ・ ・ ・	3
(2) 体制変更への理解促進	・ ・ ・ ・ ・	3
(3) 異なる方針の農業者が共存できるルールづくり	・ ・ ・ ・ ・	3
(4) 人材の幅広い活用、労働力不足の解消を支援	・ ・ ・ ・ ・	3
取組指標	・ ・ ・ ・ ・	4
2 静岡牧之原茶のブランド化と販路の開拓	・ ・ ・ ・ ・	5
現 状	・ ・ ・ ・ ・	5
課 題	・ ・ ・ ・ ・	5
振興策	・ ・ ・ ・ ・	5
(1) 消費者ニーズに対応した茶製品の開発等への支援	・ ・ ・ ・ ・	5
(2) 安心安全なお茶の生産を推進	・ ・ ・ ・ ・	5
(3) お茶の健康効果や機能性のPR	・ ・ ・ ・ ・	5
(4) 静岡牧之原茶のブランド化推進	・ ・ ・ ・ ・	6
(5) 販路開拓の推進	・ ・ ・ ・ ・	6
取組指標	・ ・ ・ ・ ・	6

3 生産性の高い基盤づくり	・ ・ ・ ・ ・	8
現 状	・ ・ ・ ・ ・	8
課 題	・ ・ ・ ・ ・	8
振興策	・ ・ ・ ・ ・	8
(1) 基盤整備事業の推進	・ ・ ・ ・ ・	8
(2) 補助事業を活用した改植支援	・ ・ ・ ・ ・	8
(3) 老朽化が進んでいる荒茶子加工施設等の再編と効率化	・ ・ ・ ・ ・	8
(4) 乗用型機械やスマート農業の導入支援	・ ・ ・ ・ ・	9
取組指標	・ ・ ・ ・ ・	9
 4 茶文化の継承と次世代へのお茶の普及	・ ・ ・ ・ ・	10
現 状	・ ・ ・ ・ ・	10
課 題	・ ・ ・ ・ ・	10
振興策	・ ・ ・ ・ ・	10
(1) お茶文化の継承と普及	・ ・ ・ ・ ・	10
(2) 各種イベントでのお茶の魅力や健康効能の発信	・ ・ ・ ・ ・	10
(3) 牧之原市の茶業の歴史が持つストーリーの発信	・ ・ ・ ・ ・	10
取組指標	・ ・ ・ ・ ・	11
 5 茶業経営を安定させる取り組み	・ ・ ・ ・ ・	12
現 状	・ ・ ・ ・ ・	12
課 題	・ ・ ・ ・ ・	12
振興策	・ ・ ・ ・ ・	12
(1) 茶業経営の安定のための複合経営の推進	・ ・ ・ ・ ・	12
(2) オーガニックまきのはら推進事業の展開	・ ・ ・ ・ ・	12
取組指標	・ ・ ・ ・ ・	12
 IV 茶業関係者の役割	・ ・ ・ ・ ・	13

【資料1】緑茶の輸出量及び輸出額

【資料2】緑茶（リーフ茶）の1世帯・1人当たり購入量・金額

【資料3】静岡県における茶期別生葉価格の推移

【資料4】静岡県における茶期別荒茶価格の推移

【資料5】牧之原市農業従事者等の平均年齢

【資料6】茶工場数の推移

【資料7】牧之原市食育推進計画アンケート調査

【資料8】アンケート調査結果

はじめに



本市は、静岡県下有数の茶産地としての誇りを持ち、静岡牧之原茶のブランド力の向上と経営基盤の強化を推進するため、平成27年（2015年）に牧之原市茶業振興計画を策定しました。

現在の茶業界を取り巻く環境は、ライフスタイルの著しい変化をはじめ、特にコロナ禍以降非常に厳しい状況にあります。

この状況下においては、茶商が求める良質な深蒸し茶の生産や、近年人気が出ている和紅茶やフレーバーティーなど、「リーフ茶の高品質化と専門化」を図る方法、大手ドリンクメーカーとの「契約販売」を進めることで経営を安定させる方法、また「碾茶・有機茶栽培」に取り組み、お茶の新たな可能性を模索する方法、これら3つ軸として茶業振興を推進することが重要であると考え、今回の計画においても、これらの3つの軸を基準に、「儲かる茶業」をキーワードに事業計画を策定しております。

また、状況に合わせた実のある計画を推進するため、本計画の期間は、令和7年度（2025年度）から令和12年度（2030年度）までの6年間を基本としますが、社会情勢の変化に応じて計画の見直しを行います。

牧之原市の茶業が、静岡の茶業界において中心を担い、かつ、「静岡牧之原茶が味と品質日本一」を掲げ、生産者や茶商組合、JA、茶業振興協議会など茶業関係者と連携して茶業振興に取り組んでまいります。

Ⅱ

目指す姿と茶業振興の5つの柱

1 目指す姿

「茶業関係者が安心して維持・発展できる茶業経営」

現在の茶業界は、高齢化と担い手不足による急速な労働者不足や、消費者の茶葉購入傾向の変化等による影響を大きく受けております。

牧之原大茶園を有する日本有数の茶産地として、「現状の深蒸し茶の品質向上の推進」、「大手ドリンクメーカーとの契約栽培の推進」、「次の時代を見据えた有機茶・碾茶への取組推進」の大きく3つの軸が、今後の販路開拓と茶業経営の安定には必須になると考えます。

本市の茶業関係者が、安心して茶業経営を維持・発展させる3つの軸を推進するために、次の5つの柱を本計画の中心といたしました。牧之原市の茶業が、静岡の茶業界の中でも生き残ることができるよう、魅力を維持し、ブランド力の更なる向上を目指して、生産者・茶商・JA・茶業振興協議会・行政などの茶業関係者に加え、異業種を巻き込んだ取組を推進します。

2 茶業振興の5つの柱

経 営 面 「魅力ある経営体の育成」

販 売 面 「静岡牧之原茶のブランド化と販路の開拓」

ハード面 「生産性の高い基盤づくり」

ソフト面 「茶文化の継承と次世代へのお茶の普及」

連 携 面 「茶業経営を安定させる取り組み」

Ⅲ

茶業振興の5つの柱とその振興策

1 魅力ある経営体の育成

現 状

- 消費者が求めるお茶の多様化
- 茶園や茶工場の経営方法の多様化（共同管理、法人化など）
- 販売方法の多様化（従来の茶栽培、契約栽培、緑茶の輸出など）
- 生産者と茶商との連携強化（研修会や情報交換など）
- 茶価が低迷するなかにおいても収益を上げている茶業者もいる

課 題

- 茶業関係者の熱量と情報収集能力の格差
- 急速な茶業関係者の高齢化と後継者不足
- 茶業経営の方針の違いによる問題の発生
- 茶工場の解散や廃業の増加

振興策

（1） 農業者間の情報交換の促進

- 消費者ニーズ把握のため、情報収集及び共有する場の創出を図ります。
- 茶業関係者の経営能力向上を図る情報交換会等を開催・支援します。

（2） 体制変更への理解促進

- 法人組織や農地所有適格法人への移行を支援し、組織による茶園の所有や従業員の雇用等ができる仕組みづくりを進めます。

（3） 異なる方針の農業者が共存できるルールづくり

- 円滑な茶業経営ができるよう、必要に応じ関係者間でのルールづくり（ドリフト対策など）を支援します。

（4） 人材の幅広い活用、労働力不足の解消を支援

- 異業種からの農業参入も含め、茶業への幅広い人材活用を支援します。

取組指標

項目	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
茶業関係者や異業者による 情報交換会等の開催・支援	4回	10回
茶工場の法人化数（累計）	17件	25件
認定農業者数	164経営体	185経営体

2 静岡牧之原茶のブランド化と販路の開拓

現 状

- 大規模展示会への出展や各種イベントへの出店支援
- 全国規模の品評会出品への支援
- 静岡牧之原茶「望」のブランド推進と流通販売の支援
- 有機ＪＡＳ認証取得や残留農薬の検査への支援

課 題

- 消費者からの意見を聴ける場の確保
- 1世帯当たりの茶葉の購入量と購入金額の減少（総務省の家計調査年報）
- ドリンク茶や抹茶ブームを起因とする碾茶・抹茶の需要が拡大する一方で煎茶の需要が低迷
- 新たな販路の開拓（健康意識の動向や海外輸出などへの対応）の必要性

振興策

- (1) 消費者ニーズに対応した茶製品の開発等への支援
 - 健康効果を押し出した商品やオーガニック緑茶など、消費者ニーズが高い商品の開発を支援します。
 - 大手ドリンクメーカーとの契約栽培を推進します。
 - 6次産業化に取り組む業関係者を支援します。
- (2) 安全安心なお茶の生産を推進
 - 安全安心なお茶づくりを推進するため、有機ＪＡＳ認証取得や残留農薬の検査、土壌微生物を活用した取組を支援します。
 - GAP や HACCP 等の公的認証取得に取り組む茶業関係者を支援します。
- (3) お茶の健康効果や機能性のＰＲ
 - 関係団体等と連携し、お茶の健康効果等について科学的根拠に基づいた情報を収集し、消費者に対し広くＰＲします。

(4) 静岡牧之原茶のブランド化推進

- 全国茶品評会や全国規模のコンテストに、静岡牧之原茶を出品する茶業関係者を支援します。
- 静岡牧之原茶入札会など、販路拡大イベントの開催を支援します。
- 動画や SNS を活用して、お茶の魅力を発信します。
- オンライン・オフラインを活用して、直接消費者とふれあえる交流会や商談会の開催などを支援します。

(5) 販路開拓の推進

- 「静岡牧之原茶」の消費拡大を図るため、首都圏などで開催される展示会等に出展する茶業関係者を支援します。
- お茶の輸出動向について、茶業関係者と情報交換や勉強会を実施する等、輸出への取組を支援します。
- 「静岡牧之原茶」の消費拡大のため、販売拡大に関する支援をします。
- イベント出店やその情報を提供するなど、茶業関係者の販売力向上の取り組みを支援します。

取組指標

項目	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
有機茶栽培面積（転換中も含む）	3ha	20ha
碾茶栽培面積	2.8ha	50ha
契約栽培面積（ハイナン農協分）	300ha	300ha
有機 JAS 認証取得件数	0件	10件
全国茶品評会1等以上及び 日本茶アワードプラチナ賞以上 受賞件数	4件	8件
静岡牧之原茶「望」栽培面積		
一番茶	47.5ha	40.0ha
二番茶	64.2ha	50.0ha
合格率	80%超	80%超

項目	現状 (令和6年度)	目標 (令和 12 年度)
茶業関係者が主催する お茶イベント開催件数	4 件	8 件
お茶と市内高収益作物との コラボ商品開発件数	1 件	1 0 件

3 生産性の高い基盤づくり

現 状

- 地域計画※に基づき、農地集積や基盤整備の事業実施に向けた話し合いの実施
- 朝生原地区（21ha）、涼松大原地区（11ha）において基盤整備を実施
- 国や県等の補助金を活用し、農業施設や乗用機械の整備を支援

※ 地域計画：生産者自らが将来の地域農業や茶業を話し合い策定した計画

課 題

- 広大な茶園を有する一方で、不整形で狭小な茶園の比率が多い
- 茶園管理作業の更なる省力化・効率化の推進
- 異なる茶葉の生産期間により発生するドリフト等への対応
- 夏の暑さや病害虫に強い茶種への転換
- 農業資機材の価格高騰

振興策

（1） 基盤整備事業の推進

- 中間管理機構等を活用した農地集積を支援します。
- 地域計画に基づく農地利用に関する地域の取組を支援します。
- 畝方向の修正等、生産者自らが行う簡易的な基盤整備を支援します。
- 農地集積を推進するため、各種の支援情報の提供を行います。
- 荒廃農地の解消に取り組む生産者を支援します。

（2） 補助事業を活用した改植支援

- 病害虫への抵抗が強い茶品種への改植を支援します。
- 消費者ニーズの高い品種等の情報を収集し、生産者に提供します。

（3） 老朽化が進んでいる荒茶加工施設等の再編と効率化

- 茶業経営の継続を支援するため、老朽化が進んでいる荒茶加工施設等の再編・効率化を支援します。

(4) 乗用型機械やスマート農業の導入支援

- 生産者の規模拡大や生産効率化、後継者・労働力不足を補うため、生産性の向上を目的とした乗用型機械やスマート機器の導入を支援します。

取組指標

項目	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
基盤整備面積（延べ面積）	159ha	200ha
改植支援事業の活用面積（年間）	3.8ha	5ha
茶工場施設の再編・効率化の件数 (R6年以降の国庫補助金申請件数)	0件	5件

4 茶文化の継承と次世代へのお茶の普及

現 状

- 「皇室献上茶謹呈事業」を開催
- 「まきのはら協奏曲（コンチェルト）」等のイベントによる茶文化の普及と継承
- 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の推進

課 題

- 消費者の嗜好や消費動向の変化による、お茶の文化の停滞
- お茶の楽しみ方の単純化
- お茶の楽しみ方やお茶の新たな魅力の発信が急務

振興策

(1) お茶文化の継承と普及

- 学校の授業や各種イベントにおいて、手揉み技術の体験を通してお茶文化の継承を図ります。
- 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の認知度向上を図ります。
- 成人式などの節目に茶器等を贈呈し、若い世代のお茶を飲むきっかけづくりを推進します。
- 幼少世代や小学生向けの各種お茶教室の開催や、コールドドリンクディスプレイの活用など、子ども達に向けたお茶の普及を推進します。
- お茶をより身近に楽しむことができるように、フィルターインボトルの啓発・普及を推進します。

(2) 各種イベントでの、お茶の魅力や健康効果の発信

- 親子でお茶を楽しめるよう、食育を通じて若い世代へのお茶の普及を推進します。
- 消費者がお茶を楽しめるイベント（まきのはら協奏曲やティーヒーロー選手権など）の開催を支援します。
- お茶の効果や効果をホームページやSNS等を通じて発信します。

(3) 牧之原市の茶業の歴史が持つストーリーの発信

- 「コト（体験）消費」につなぐ取り組みを推進します。

- 牧之原台地開拓や深蒸し茶誕生の歴史など、静岡牧之原茶が持つストーリー性を、本市にゆかりのある人物や、発信力のあるインフルエンサー等の協力による情報発信をしていきます。

取組指標

項目	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
お茶教室の市内学校での開催件数 (茶業振興協議会)	4件	10件
静岡牧之原茶体験会の開催件数 (まきのはら協奏曲、お茶ツアーなど)	4件	8件

5 茶業経営を安定させる取り組み

現 状

- 茶業を安定的かつ継続的に推進できる環境を整備するため、茶業振興に加えて「茶＋ α 」の複合経営支援などを実施

課 題

- 茶業経営を維持するため、効率的に栽培できる高収益作物の模索
- お茶と高収益作物のコラボ商品の開発

振興策

(1) 茶業経営の安定のための複合経営の推進

- 茶園の一部を転作し、茶業経営を安定させることができる高収益作物への転換を支援します。
- 荒廃茶園を活用した取り組みを支援します。

(2) オーガニックまきのはら推進事業の展開

- 荒廃茶園を活用したバイオ炭の製造とその活用を検討します。
- 荒廃茶園を活用した国産茶カテキンの可能性を模索します。
- 環境に配慮した茶業を目指し、「バイオ炭等を活用した環境にやさしいお茶づくり」を推進します。
- お茶との相乗効果を高めるため、高収益作物とのコラボ商品の開発を推進します。

取組指標

項目	現状 (令和6年度)	目標 (令和12年度)
転作累計面積 (茶複合経営推進事業補助金)	11ha	25ha
バイオ炭の年間施用面積	20a	1ha

Ⅳ

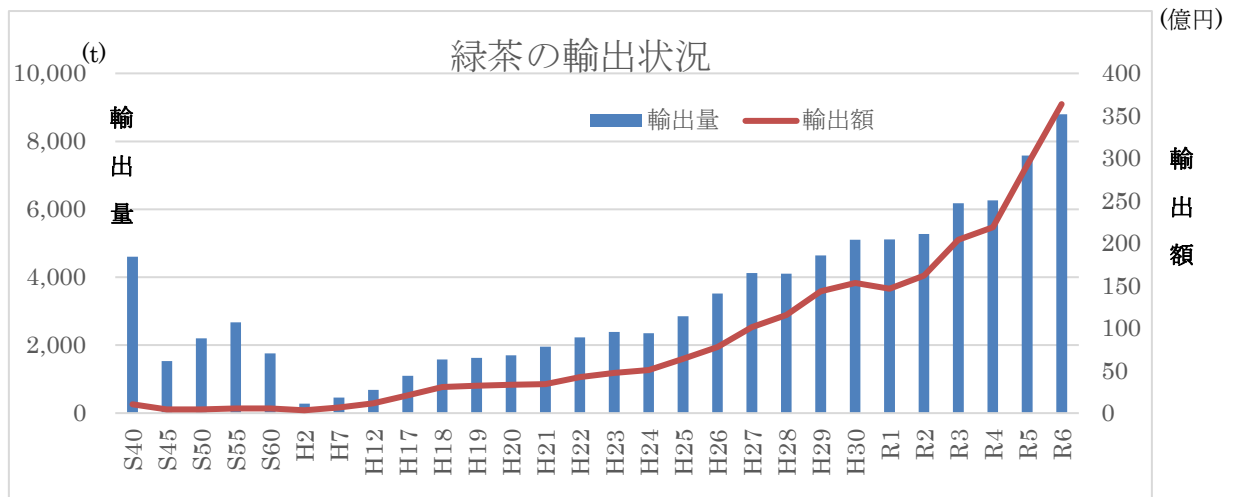
茶業関係者の役割

静岡牧之原茶の振興を図って行くため、それぞれが個々の役割を果たすとともに、茶業関係者が一体となって栽培、製造、販売などを連携し、取り組んでいきます。

生産者 茶工場	① 安全・安心のお茶づくり ② 環境に配慮したお茶づくり ③ 消費者ニーズに基づく茶品種導入など特色あるお茶づくり ④ 組織や地域の牽引者、担い手の確保と育成 ⑤ 茶業関係者や異業者との交流による情報交換及び情報共有 ⑥ 基盤整備等の圃場環境整備の取組 ⑦ ドリフト対策への協力 ⑧ 茶工場の経営計画・経営ビジョンの作成と実行 生産性の向上策（コスト削減・規模拡大） 消費者ニーズに基づく付加価値の高い荒茶生産 茶園管理・製茶機械の効率的な活用、共同管理の検討 ⑨ 組織経営体等への移行と経営改革 ⑩ 各種品評会優良成績への取り組み ⑪ 荒廃農地解消と自然環境保全の取組 ⑫ 複合経営、6次産業化（自販等）の取り組みと拡大 ⑬ 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の実践と継承 ⑭ 茶商との連携強化
茶商	① 新たな商品の開発と販売 ② 海外を含む販路の開拓 ③ 生産者との連携強化 ④ 茶業関係者や異業者との交流による情報交換及び情報共有 ⑤ 消費者ニーズ等を生産者に情報提供・共有 ⑥ 消費拡大、PR事業の推進、イベント等への協力 ⑦ 消費者や消費地との交流の取組 ⑧ 静岡牧之原茶取り扱い拡大
J Aハイナン	① 茶園管理や茶工場運営の指導及び育成 ② 共同管理、複合経営の実践支援 ③ 化学肥料及び化学農薬の減量化への支援 ④ 資材高騰対策の推進（代替肥料や代替農薬の模索など） ⑤ G A P等の公的認証取得の推進及び支援

	⑥ 農用地の利用集積推進、基盤整備への支援 ⑦ 各種品評会への出品指導 ⑧ 静岡牧之原茶のブランド化の推進 ⑨ ティーヒーロー選手権等の開催、運営 ⑩ 販売宣伝事業の強化、消費地の開拓（海外を含む） ⑪ 新たな茶飲用スタイル研究と商品企画 ⑫ 契約栽培の導入推進 ⑬ 茶栽培のエリア化並びに防除指導（ドリフト対策等） ⑭ 輸出対応圃場のエリア化、防除体系など情報提供 ⑮ 新品種などの情報提供及び改植支援
牧之原市茶業振興協議会	① 静岡牧之原茶のブランド化の推進 ② 市内外における消費宣伝活動 ③ 消費宣伝イベントの企画と実施 ④ 生産者・茶商等のPR事業の支援 ⑤ 規格茶袋、消費拡大グッズの企画販売 ⑥ イベント資機材等の貸出し ⑦ お茶の淹れ方教室などお茶に親しむ機会の提供 ⑧ 海外輸出及び有機栽培に関する情報提供 ⑨ 化学肥料及び化学農薬の減量化に関する情報提供 ⑩ 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」のPRと支援 ⑪ 農商工観の連携による情報発信とPR ⑫ シンポジウム等学習の場の提供
牧之原市	① 補助制度の情報提供と取組支援 ② カーボンニュートラルに配慮した茶業への支援 ③ 荒廃農地解消と自然環境保全への取組支援 ④ 茶業振興団体・組織、農業経営士等の活動支援 ⑤ 農商工観連携事業の推進 ⑥ 県・関係市町との連携強化 ⑦ ビジネス経営体の育成支援 ⑧ 地域計画等による農地集約の支援

【資料 1】 緑茶の輸出量及び輸出額



(資料:財務省貿易統計(輸出))

【資料 2】 緑茶(リーフ茶)の1世帯・1人当たり購入量・金額

	1世帯当たり			100g当りの 購入単価(円)	1人当たりの 購入量(g)
	人数(人)	購入量(g)	支出金額(円)		
平成2年	3.56	1,683	6,215	502	347
平成12年	3.24	1,234	6,810	567	370
平成17年	3.15	1,144	5,615	498	360
平成22年	3.08	956	4,466	467	310
平成27年	3.01	844	4,096	486	280
平成28年	2.99	849	4,168	490	286
平成29年	2.97	850	4,103	481	288
平成30年	2.98	798	3,879	486	268
令和元年	2.97	791	3,780	478	266
令和2年	2.95	827	3,817	462	280
令和3年	2.93	759	3,530	465	259
令和4年	2.91	701	3,263	465	241
令和5年	2.90	676	3,214	475	233
令和6年	2.88	671	3,194	476	233

(資料:総務省家計調査)

【資料 3】 静岡県における茶期別生葉価格の推移

	1 番茶	2 番茶	3 番茶	4・秋冬番茶	平均	
					価格(円)	前年比(%)
平成 12 年	487	131	76	40	295	85
平成 17 年	434	105	64	40	249	92.5
平成 22 年	384	68	31	29	203	97.5
平成 27 年	274	54	30	27	137	89.0
平成 28 年	278	61	34	31	141	102.9
平成 29 年	302	71	48	39	149	105.7
平成 30 年	237	65	44	39	124	83.2
令和 元 年	218	51	36	37	114	91.9
令和 2 年	203	42	32	35	105	92.1
令和 3 年	218	54	36	35	109	103.8
令和 4 年	200	45	36	33	102	93.6
令和 5 年	201	43	33	31	98	96.1
令和 6 年	178	38	33	32	96	98.0

(資料:静岡県経済連)

【資料 4】 静岡県における茶期別荒茶価格の推移

	1 番茶	2 番茶	3 番茶	4・秋冬番茶	平均	
					価格(円)	前年比(%)
平成 12 年	3,137	1,244	774	353	2,024	87.2
平成 17 年	2,798	1,116	637	327	1,650	—
平成 22 年	2,684	730	331	300	1,438	104.1
平成 27 年	2,075	627	310	291	1,091	90.7
平成 28 年	2,113	716	340	329	1,123	113.0
平成 29 年	2,328	823	486	359	1,192	109.1
平成 30 年	1,946	757	412	348	1,053	96.9
令和 元 年	1,864	609	342	336	984	96.5
令和 2 年	1,760	555	320	323	932	96.1
令和 3 年	2,085	800	360	318	1,053	98.4
令和 4 年	1,920	659	362	311	997	97.8
令和 5 年	1,955	660	330	298	960	95.5
令和 6 年	1,763	612	350	355	971	119.1

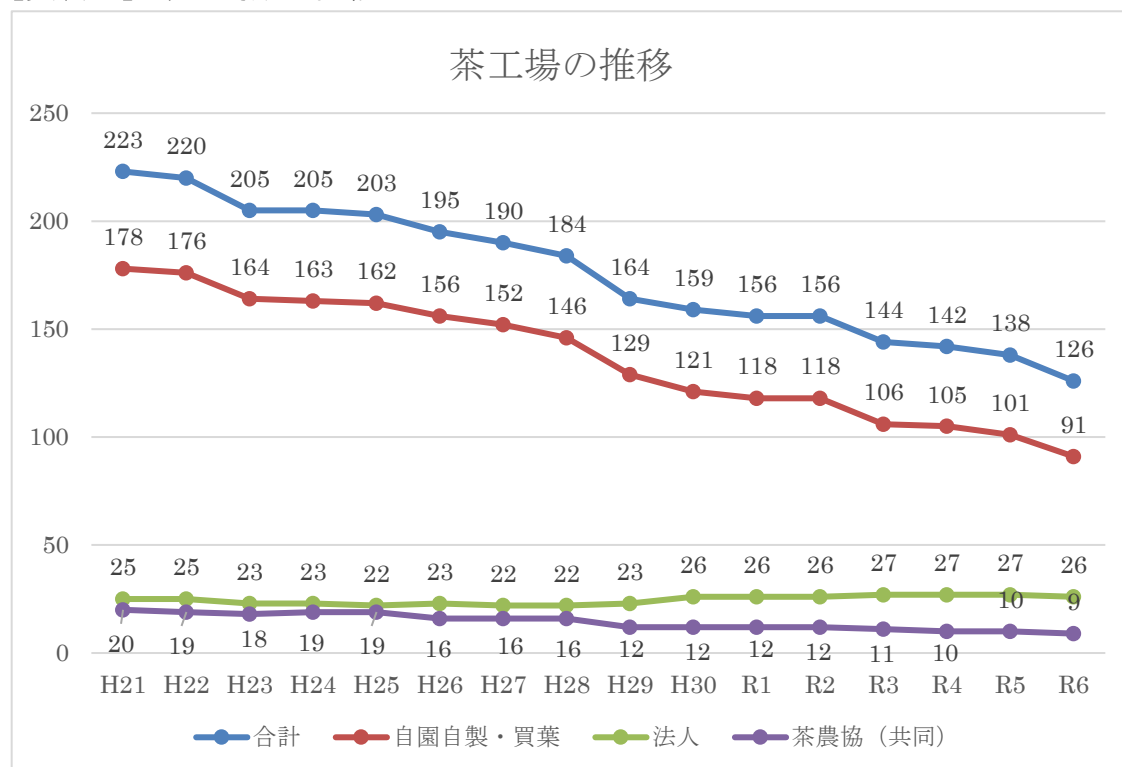
※ 年平均(H12～22)は、経済連の茶期別荒茶価格及び静岡県農政事務所の茶期別荒茶生産量を使用して茶業農産課で算出。年平均価格(H27以降)は経済連。(資料:静岡県経済連)

【資料 5】 牧之原市農業従事者等の平均年齢

農業従事者			基幹的農業従事者			農業生産関連事業に従事した者		
男女計の 平均年齢	男の 平均年齢	女の 平均年齢	男女計の 平均年齢	男の 平均年齢	女の 平均年齢	男女計の 平均年齢	男の 平均年齢	女の 平均年齢
62.7	61.5	64.2	66.3	65.3	67.5	61.9	61.5	62.5

(資料:2020 年農林業センサス)

【資料 6】 茶工場数の推移

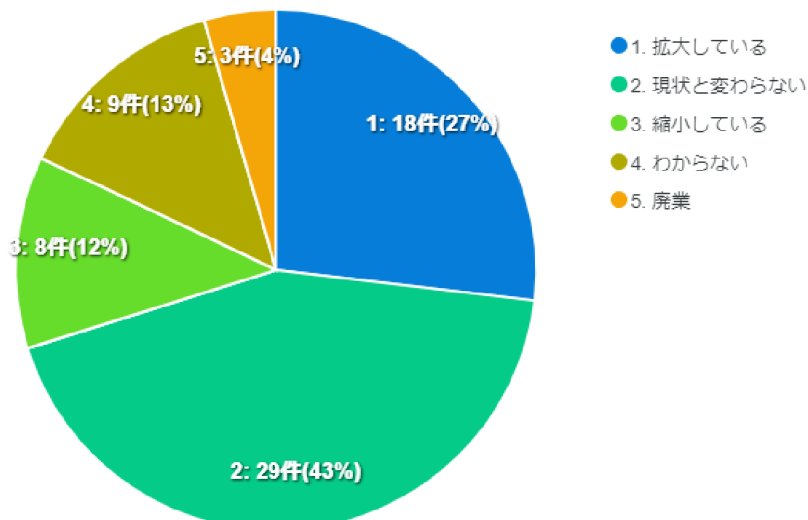


(資料:お茶特産課調べ)

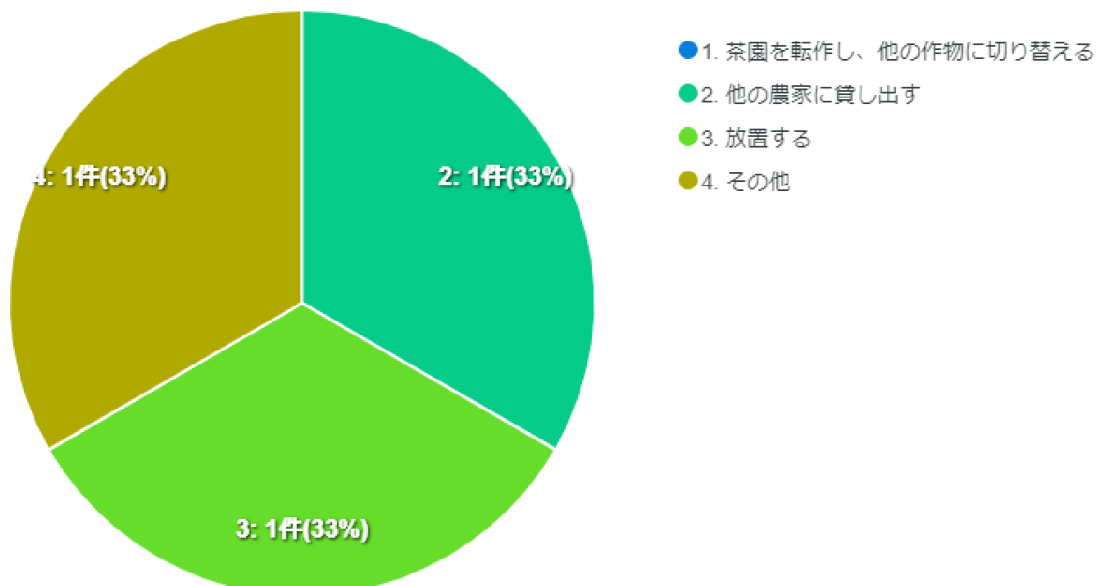
【資料 7】 アンケート調査結果

茶生産者へのアンケート調査

問 ご自分の5年後の茶業経営について近いものを教えてください。



問 「廃業」に回答された方にお聞きします。
廃業後の茶園はどうされますか？



問 「放置する」を回答された方にお聞きします。茶園借用希望者が現れたり、基盤整備の対象となったりした場合の対応を教えてください

答 茶園を貸し出す

問 茶業界の人材育成のため、必要だと思われることは何かと思いますか？
(複数回答可)

- | | |
|----------------------|------|
| ① 定期的な研修・講習会の実施 | 29 件 |
| ② 市内生産者・茶商との情報交換 | 33 件 |
| ③ 市外他産地の生産者・茶商との情報交換 | 31 件 |
| ④ その他 | 17 件 |

- 業界全体の収益構造の改善と育成人材への待遇改善
- メーカーとの直接契約、または生産者、JA または行政とメーカーとの三社契約
- 安定した収入を得られるような基幹産業にすること
- 茶価の上昇
- 安定した収入、これだけ作ればこれだけの収益があるという安定感。
- 収入が上がる業界になることが最優先。高収益の業界は人が育つ
- 茶の単価が上昇して安定した収入が得られること
- 若者の就農
- 就農しやすい経営でなければ無理
- そもそもどのような人材育成なのかわからない。研修、講習してもお茶そのものの魅力をうちだせないと人材が集まらない。いま、安く買うことを主としている茶商が多いとおもわれるので、生産者と茶商との溝を埋めることが必要
- 異業種交流
- 消費地との情報交換
- 簡単、楽しい、面白い、儲かるの意識づくり
- やる気のある素直な人を人選して、独自に勉強するしくみを作る。
- 防除時に同時散布出来る除草剤

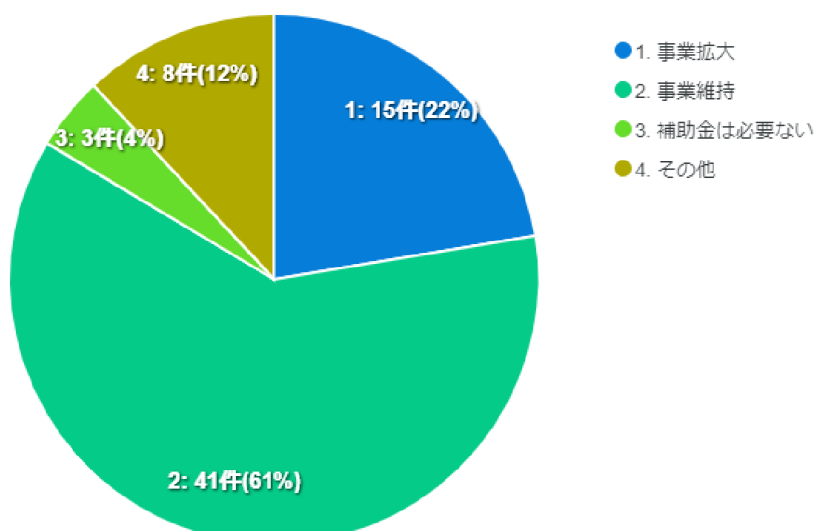
問 今後の茶業の安定化や担い手不足に対応するため、必要と思われるものは何かと思いますか？(複数回答可)

- | | |
|--------------|------|
| ① 茶業者同士の情報共有 | 30 件 |
| ② 茶園の基盤整備 | 44 件 |
| ③ 乗用機械の導入 | 30 件 |
| ④ スマート農業の実施 | 16 件 |

⑤ その他 18 件

- とにかく茶価の上昇。基盤整備、乗用導入は来るところまできている。
- 茶価の上昇
- 単価の上昇
- 経営的にやっていける茶業
- 茶価が？
- 茶価の安定
- 荒茶単価の上昇
- 契約栽培の拡大
- 現状、伊藤園がメインの栽培だが、それ以外にも契約栽培があっても良いと思う。
- 事業経営に対しての、補助金や融資制度
- 販売能力・生産現場を大切と考える生産者、問屋の意識
- 生産者直販
- 販売の多様化
- 働き方の見える化、働きたい人に繋げる仕組み作り、無駄な作業のあぶり出し、改革できない人たちが何を話し合っても良くならない。基盤整備もいいけど、無農薬栽培地区を作って欲しい。

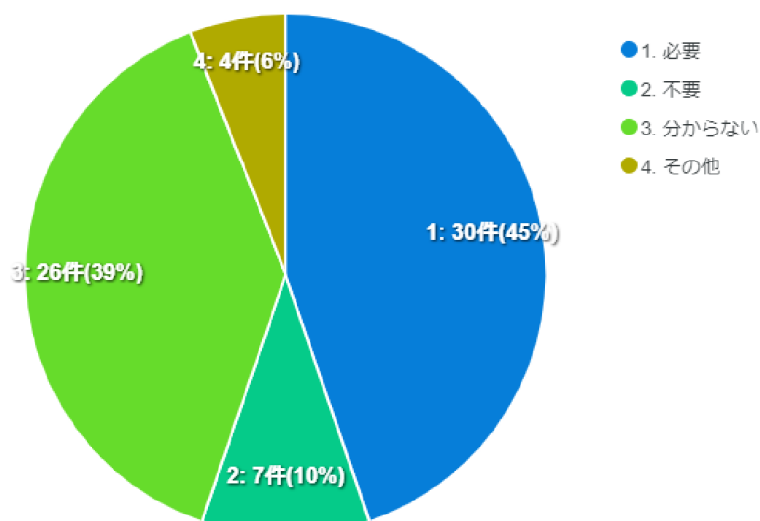
問 補助金の使用目的についてお聞かせください。



④ その他

- 運転資金、各農家は貯金を使い果たし、手元金が全く無い。運転資金があれば、事業継続の意欲も湧くが。
- 新規取り組み
- 無駄な作業を見つけてもらうことに使った方がいい、労働力確保の仕組み作りにも使えたらいいな。
- 不平等な補助金は必要ない。直販の指導

問 契約栽培（パートナーシップ）について、お聞かせください。



④ その他

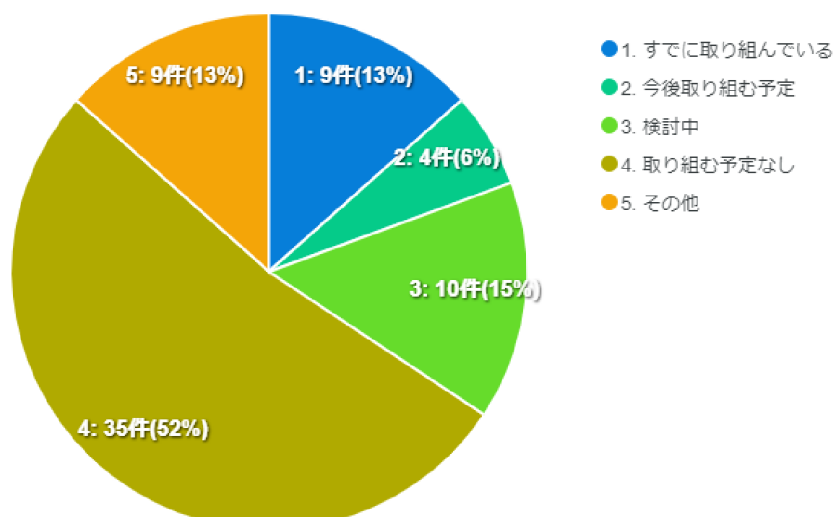
- 各々の経営方針によると思います。
- 安定の契約栽培ならともかく、安値安定の契約栽培では売り先確保だけで意味がない
- 自分もお世話になっているが、これが進むと農業の本質を失う気がする。

問 契約栽培（パートナーシップ）についての課題を教えてください。
（複数回答可）

- | | |
|---------------|------|
| ① 農薬(ドリフト)問題 | 44 件 |
| ② 他作物の栽培による影響 | 8 件 |
| ③ お茶の消費・販売状況 | 23 件 |
| ④ その他 | 11 件 |

- GAP の検査についていけない。
- 1 番茶最初から最後まで契約栽培でないと意味がないと思う
- 単価安
- 契約価格
- 茶価

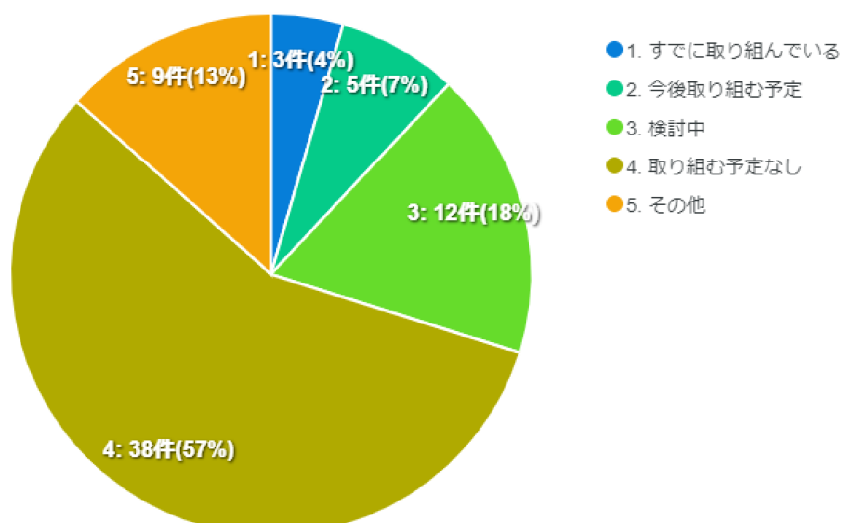
問 輸出についての取り組みについて教えてください



⑤ その他

- 防除についてはアメリカ向けに取り組んでいる
- 輸出先の農薬を使用
- 問屋さんが動いていない

問 有機（オーガニック）茶の取り組みについて教えてください。



⑤ その他

- 茶商次第
- 既に実施していた
- 取り組めるような経営形態にしたい
- 取り組みの進め方がわからない

問 有機（オーガニック）茶栽培の課題について教えてください。（複数回答可）

- | | |
|---------------|------|
| ① 農薬（ドリフト）問題 | 37 件 |
| ② 他作物の栽培による影響 | 8 件 |
| ③ 販売先の有無 | 34 件 |
| ④ その他 | 16 件 |

- 販売先も重要ですが、有機栽培の知名度、必要性を消費者にアピールが必要
- 栽培自体が難しい
- 害虫、薬に強い品種への変更
- 認証制度のコスト
- ある程度は販売先を確保することで、生産者のやる気を高める必要がある。堆肥など環境汚染物質が混ざり込みリスクがある
- 肥料、農薬の使用が制限される事による収量減、除草の問題等を考慮するとメリットがあるか疑問。
- 除草剤が使えないため草取り等の管理が大変

問 お茶の自販をしていますか？

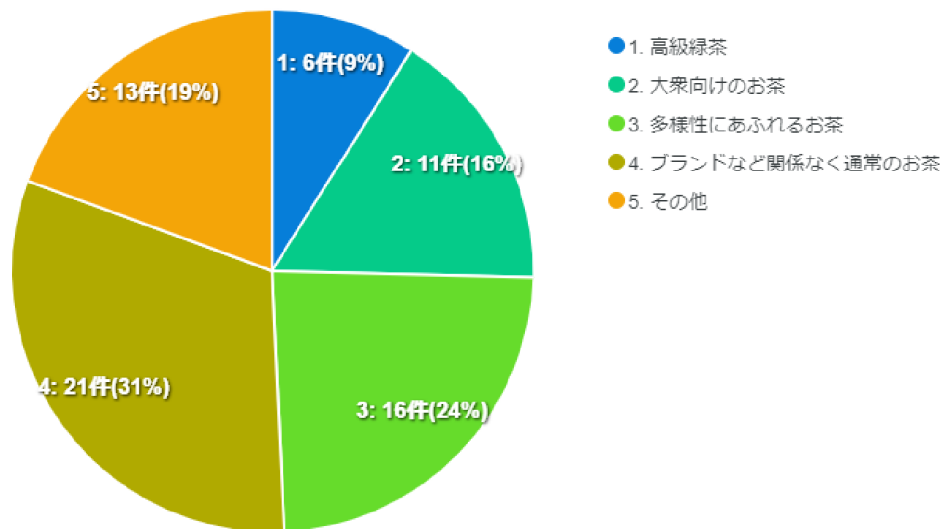
- | | |
|-----------|------|
| ① 自販している | 43 件 |
| ② 自販していない | 24 件 |

問 自販はどのような手段を活用していますか？

- | | |
|----------------|------|
| ① 店舗販売（自宅を含む） | 14 件 |
| ② インターネット | 16 件 |
| ③ 折込チラシ | 2 件 |
| ④ ダイレクトメール | 14 件 |
| ⑤ イベント出展 | 12 件 |
| ⑥ デパート、スーパーへの卸 | 3 件 |
| ⑦ 特にない | 11 件 |
| ⑧ その他 | 6 件 |

- ホテル、カフェへの卸
- 親戚・知り合いからの注文を受ける
- 新茶の時期に自宅より発送している
- 昔からの注文を取っている

問 静岡牧之原茶のブランドは何かと思いますか？



⑤ その他

- 牧之原大地という産地で取れたお茶としての通常のお茶
- まだ、ブランドのイメージは出来ていないと感じます。
- 美味しいお茶
- 各農家で違う

- お茶を知ってる人は、認知してますが、今後は静岡茶の一つでしかないようになる
- 産地ブランド
- 深蒸し茶
- 全国的な知名度がない

問 静岡牧之原茶のブランド拡大のため必要な取り組みは何かと思いますか？

- | | |
|--------------------------------------|------|
| ① 全国品評会など、お茶のコンテストにチャレンジする。 | 11 件 |
| ② 大都市圏での展示・商談会や産販イベントに積極的に参加してPRをする。 | 32 件 |
| ③ 親善大使など、インフルエンサー(影響を与える人)に頼りPRをする。 | 28 件 |
| ④ 輸出の取り組みを推進する。 | 11 件 |
| ⑤ その他 | 19 件 |

- 静岡牧之原茶の定義・価値の明確化
- 伊藤園のお茶とかシェア 1 位になれば
- お茶という物をいまさらかもしれませんがアピールする。
- 良い原料を作る
- 茶草場農法の普及
- ユーザーの理解を深めること
- SNSの発信
- マスコミ・メディアの活用
- 安定した基盤整備がされていない中で、拡大なんかできません。まずは機械化に対応できる茶園を造ることが重要だと思います、その上で、ブランドが確立されるものと思います。
- 市としての取り組みが少ない。
- 若い女性のセンスでやる。
- 農業に限らず牧之原市のイメージアップに努める
- よく分からない

問 展示・商談会等に参加を希望する場合、どのようなジャンルを希望しますか?(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|------|
| ① 多様なジャンルのバイヤーが来場する展示・商談会 | 32 件 |
| ② ホテル関連のバイヤーが来場する展示・商談会 | 8 件 |
| ③ スーパー関連のバイヤーが来場する展示・商談会 | 12 件 |
| ④ 飲食店関連のバイヤーが来場する展示・商談会 | 18 件 |
| ⑤ お茶等飲料関連のバイヤーが来場する展示・商談会 | 22 件 |

⑥ その他

16 件

- 参加希望しません
- 希望しない
- 消費者へ直接とどける展示
- 海外への販売
- 海外の展示会で、オーガニックマーケット
- よくわからない
- 自販していないのでわからない

問 静岡牧之原茶を普及するためには何が必要だと思われますか？(複数回答可)

- | | |
|-----------------------------------|------|
| ① 子ども達がお茶と触れ合える機会を増やす。 | 36 件 |
| ② 在住外国人がお茶と触れ合える機会を増やす。 | 10 件 |
| ③ 交流都市と連携し、お互いの農産物の長所を伸ばす。 | 26 件 |
| ④ 県内外の茶産地で連携し、情報交換しながらお互いの長所を伸ばす。 | 13 件 |
| ⑤ インフルエンサー（影響を与える人）を活用する。 | 36 件 |
| ⑥ ウェブやSNSなどのコンテンツを活用する。 | 28 件 |
| ⑦ その他 | 14 件 |

- CM
- 市、牧之原茶を売る茶商との連携と積極的なアピール
- 静岡牧之原茶の名前を付けて販売
- 牧之原産の荒茶を使用した商品開発
- 海外展示会への出展
- 体験を通じて、記憶に残るお茶を提供する
- 急須で入れるお茶を身近なものにする。牧之原市民は必ずお茶を飲む
お茶を買うお茶を淹れる事がステータスである市であるという市民から意識をかえることが必要
- 後継者の確保。茶園の基盤整備
- よくわからない

問 静岡牧之原茶を普及するため適当と思われるイベントは何かと思いますか？
(複数回答可)

- | | |
|--------------------------------|------|
| ① お茶を淹れたり、飲んだりすることを体験できるイベント | 40 件 |
| ② 茶畑で茶摘みや農業体験ができるイベント | 23 件 |
| ③ お茶はがきデザインコンテストなど、コンテスト的なイベント | 5 件 |
| ④ 物産展などのイベント | 31 件 |
| ⑤ その他 | 16 件 |

- アナログイベントだけでなく、インターネットや SNS を活用したオンラインイベントもあったら良い思います
- 以前、石雲院でやったようなイベント
- 海外へ輸出を増やせるようなイベント
- 市としてなんでもやる
- 農園、製茶問屋が自ら出店したり、ブランド作りをしたりするための勉強会や講習
- 体験イベントで牧之原に来てもらう体験してもらう買ってもらうまた春にきてもらう魅力をうちだす。
- B 級グルメ大会で公式飲料になる
- マラソンやサーフィンなど、スポーツイベントとのコラボ
- 人が集まれば何でも良いので、お茶にこだわりすぎないイベントをやる。昔の茶箱を使って作った台車で坂道下るレースするとか、イカダ作って川の早下り競技とか。
- 根本的に違います。お茶の消費拡大を全国的に行うことです、また世界へ進出。
- よくわからない

問 茶業経営を維持するため、茶業以外に検討が必要なのは何かと思われますか？(複数回答可)

- | | |
|-------------------|------|
| ① お茶のフェアトレードの実施 | 19 件 |
| ② 茶園景観を観光資源としての活用 | 17 件 |
| ③ 二酸化炭素排出権を創出して活用 | 13 件 |
| ④ 複合経営（転作）の実施 | 38 件 |
| ⑤ その他 | 11 件 |

- 後継者不足農業の魅力低下が問題。価格が安定によりその辺の不安が解消されると思う
- 青色農地の撤廃。宅地への転化ができれば、放牧園もなくなります。
- 茶の実油とかどうかな
- よくわからない

問 その他ご意見があればお願いします。

- 明るい茶業が構築出来るようみんなで知恵を出し合いチャレンジしていきましょう。
- 新しい牧之原市の PR 方法を考えて挑戦する。
- 牧之原産の荒茶を製造しているため、継続的に農業が維持できる環境、政策を期待します。
- 現状、生産者側には価格の決定権がほぼなく現在の相場での茶業経営維持はきびしいとともに現状では後継者が増えるはずがない。
生産者にどうするとかではなく、まず茶商など買う側に圧力をかけていただかないと何も解決はしないと思います。
- 厳しい茶業界、農業の現場ではありますが、なんとかやっている状況のかたが多いと思います。経営者として判断した場合は茶業なんかやめた方がいいになりますが、農家として生活としてやっていくとしたら今現在の状態だと、苦しみながらやっていくわけですが、70 歳になったらやめよう、息子にはつがせることはやめようになると思います。
勝間田の個人工場 25 軒ありますが、一年に 1 軒やめている状況で、25 年で 0 軒になると思います。その話すると「俺はやめんよとか、やめちゃうとかさみしいじゃないか」とかいいますが、これが現実であり、0 軒でなく残り 20 軒 15 軒になる前に手立てをうたないと、と思います。農協は茶をやめなくていい、複合経営でお茶＋なにかで、やっていけばいいといろんな作物の提案を行ってくれている一方、どちらも中途半端、機械代も重くのしかかるやっぱりお茶一本で行くと思っている人もけっこういると思っています。
ただ、茶業は乗用、製茶機械など機械代金が他の作物よりかかるという所も経営をひっ迫させています。
市としてなにか取り組まなきゃという思いから、アンケートやコンチェルト、お茶はがきコンテストなどやってくれていると思います。
島田市のように緑茶化計画ぐらい茶業をバックアップしてほしい一方、ダメだとなれば、サーフィンの町、スズキ自動車の町なり、かじきりするしかない農業は細細やっていだけかなとも思います。
- 農家のおっさんどもはこのようなアンケートに前向きでなく、一匹狼てきな俺は大丈夫だとか、思い上がっちゃってる方が多いです。
- 自分自身の茶業、市としてどのようにお茶を残していくかをしっかり考える時がせまっていると思います。
ただ、昔学生さんとの話でお茶は無くなっても仕方がないという意見もありました。

- 農家のおっさんの意見だけでなく、市民も今の茶をどうしたいか？荒れた畑何とかしろと言われてもなんともできない何か市民としてできることないか。スズキ自動車の社員は農家に軽トラ売るばかりじゃなくそのかわり茶を買ってお金を回せよなど、市民としてのアンケートもお願いしたいです。
- このようにスマートフォンでアンケートとれる時代ですので、どんどん市民の意見を吸い上げて反映させてほしいです。
- やる気のある後継者のためにも、茶園の基盤整備を大至急進めるべきです。機械を導入できない山の畑が多いため、茶園の基盤整備が急務です。そうすれば 20 年後は軌道にのります、基幹産業を復活させるためには、一人ひとりの農家に希望を持たせることだと感じます。そうすれば、税収のアップに繋がります。
- 国、県からの補助による基盤整備の推進の話はよく耳にします。確かに実現すれば仕事の効率化は上がるでしょう。しかし、今から鹿児島 のやり方を手本にマネしても気候も違うし、ここまで茶の需要と茶価が低迷する中、若手の後継者は基盤整備により規模を拡大しても肥料や農薬などの生産コストの高騰により「自分の首を絞める」事になると考えている。それよりも複合経営にカジをきり、茶の専業からは、遠ざかる傾向がある。
- 牧之原の高台開発の場所の茶畑が荒れていてみっともない。他県から来た人たちから、牧之原はお茶やめる人が多いね、こんなに放棄地あるんだねと言われる
- 有機栽培特に無肥料無農薬栽培は、外的要因による経営リスク低減に効果あります。自然栽培を広めて、販売先確保すれば問題解決に、つながると考えます。
- 個人事業としてや、家族単位の形などの、小規模茶業生産者の中には、他にはあまりない栽培？製茶技術や、貴重なお茶を作る生産者が、まだまだ多く存在する中で....
- もっとも利益率が良い“自販”の経営分野を行うにあたって、事務方や経理？営業？広報まで含めて、人手が不足している現状を、外部からのサポートや第三者の協力といった、直接販売への裏方？援助の人であったり、組織であったりする形で、生産者 自らの販売を助けてくれる存在が、必要であると思います。
- 耕作放棄地を見るたびに茶業界の先が心配です。どれだけ減ったら茶価が安定するのか…？
後継者を育成するのは簡単な事ではない。補助金だけではついてこな

いと思う。

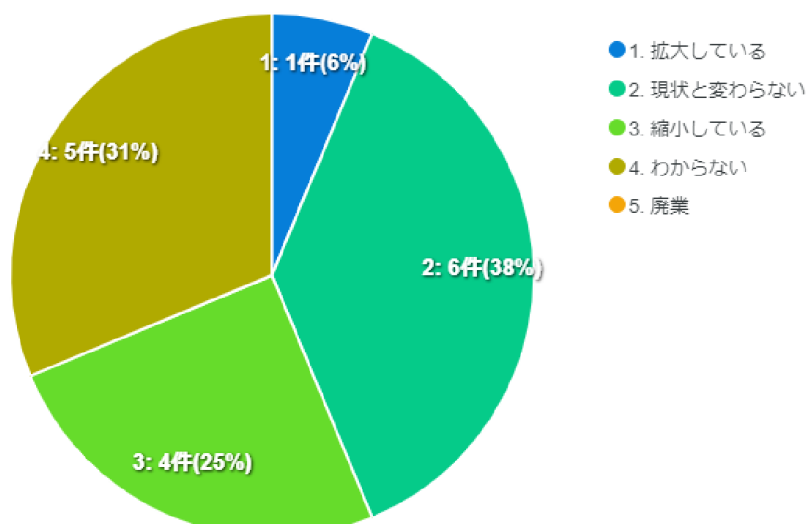
H22 年から茶園を柑橘に自己資金で転作してきましたが、今思うともっと早くから転作を実施していても良かったかと思う。

お茶にこだわり過ぎない方が、将来像が見えてくるかもしれません。転作を進めます。

- 基盤整備するには7年の年月がかかるため、年齢を考慮する必要がある。茶価を維持するのであれば、県内の茶園面積を30%減らす必要がある。青地（農振法）も考慮する必要がある。
- 今回のアンケートで5年後を問われているが、来年の茶価も分からないのに回答するのは困難（2年後ならかけるが…）
- 掛川市には茶商が多くいるので販路があるが、牧之原市には少ないので販路が少ない。
- 市やJA主導で、他県の市・JAの直売所と連携し互いの産物を置かせてもらうくらいしか浮かばない。
- お茶業は儲からないと現状判断しているから、続けても無理だと思うから、伊藤園等が一茶でさえも以前では考えられないほど安く買いたたいてくるし、何年間は値が上がっていると思い我慢したが、いまだに改善する様子がないから大きな会社がお茶を安く買い続ける限りこの現状は変わらないと思う。
早急に最低この値段以下では買ってはいけないという法律を作ったほうが良いと思う。
- 農場主が65歳以上で後継者が農業を行っていない家が半分ですから、今後茶工場の運営が非常に困難になると思っています。
各茶農家が安定的に生活を送れるための収入が茶業から得られない結果だと思います。
荒茶を製造する現場では、農家数の減少、高齢化により労働力不足が近年現れてきました。このままでは各茶工場行き詰まりになりますので、茶工場の再編を進めるべきだと思います。
農家が生葉だけ生産しても荒茶まででないと商品にならない。
- 一番茶の最後になると 2,000 円/kg以下になり、生産者と市が半分ずつ負担して 100g パックにして、トヨタ自動車やスズキなどの食堂で飲んでもらって、ペットボトルより美味しさを知ってもらってはどうか？
- お茶を抜いて転作を進める（自然薯を定植する）。

茶商へのアンケート調査

問 ご自分の経営について、5年後状況に近いものを教えてください。



問 現在取り扱っている商品について教えてください。

① 深蒸し茶	16 件
② 普通蒸し茶	8 件
③ 紅茶	12 件
④ ウーロン茶	5 件
⑤ プーアル茶	2 件
⑥ 香り緑茶	1 件
⑦ その他	3 件

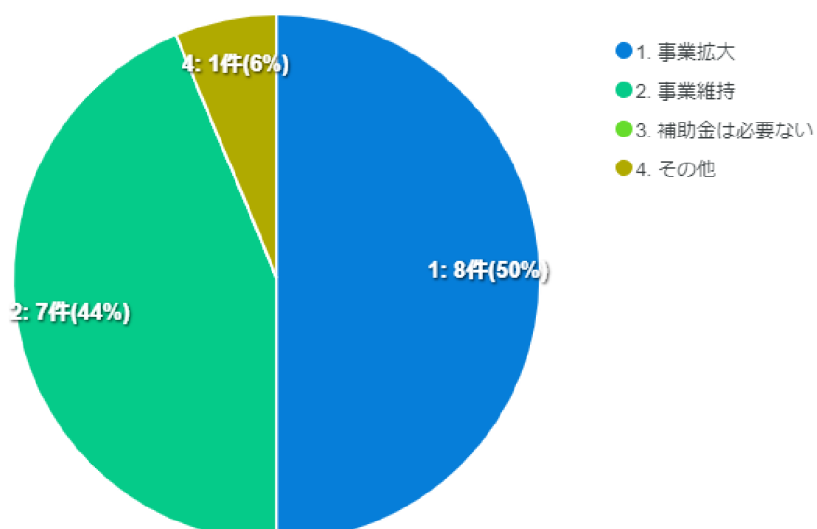
- 茶飲料、茶スイーツ
- 抹茶
- フレーバーティー、抹茶

問 人材育成や情報交換のために必要と思われるのは何だと思いますか？(複数回答可)

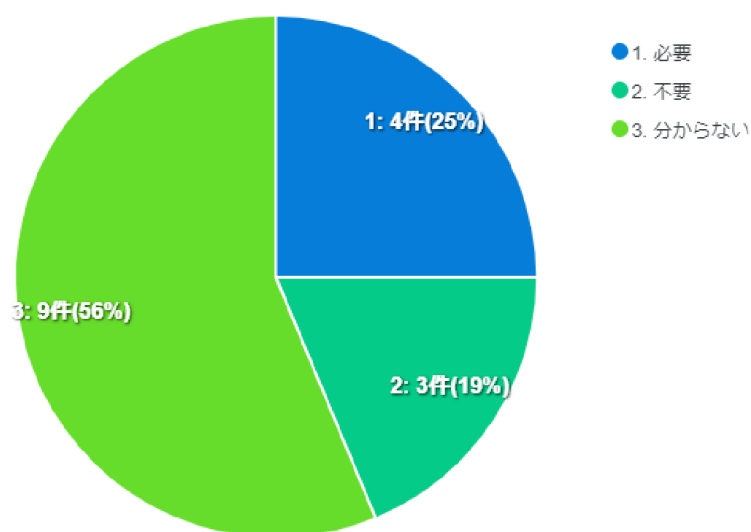
- | | |
|----------------------|------|
| ① 定期的な研修・講習会の実施 | 12 件 |
| ② 市内生産者・茶商との情報交換 | 4 件 |
| ③ 市外他産地の生産者・茶商との情報交換 | 5 件 |
| ④ その他 | 3 件 |

- 輸出、海外向け販売のノウハウ
 - 異業種交流

問 補助金の使用目的についてお聞かせください。



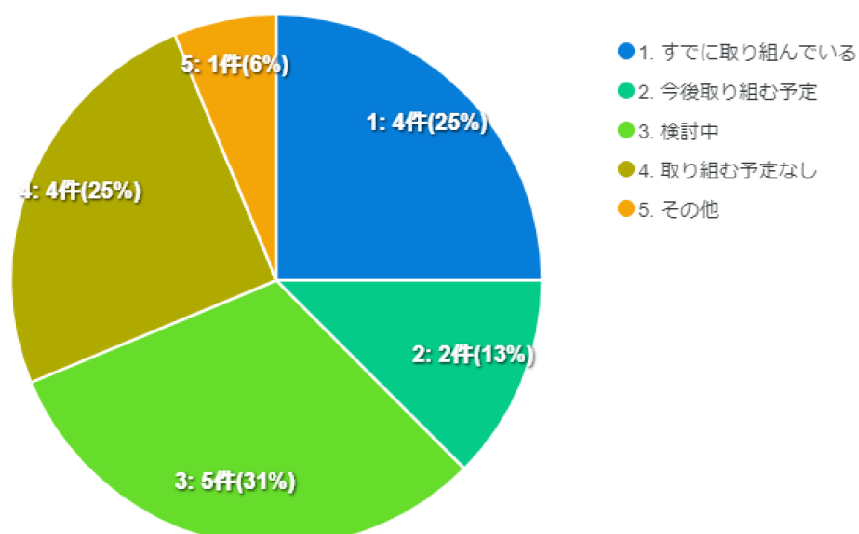
問 契約栽培（パートナーシップ）について、お聞かせください。



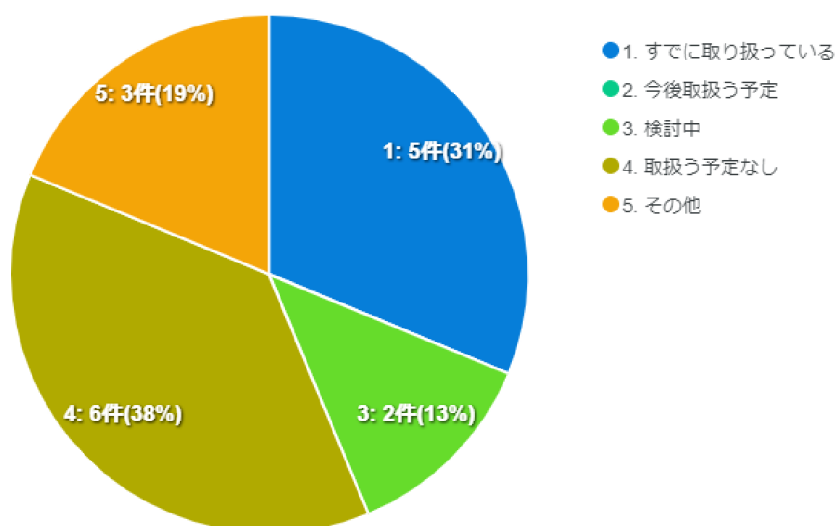
問 契約栽培（パートナーシップ）についての課題を教えてください。（複数回答可）

- | | |
|---------------|------|
| ① 農薬(ドリフト)問題 | 6 件 |
| ② 他作物の栽培による影響 | 2 件 |
| ③ お茶の消費・販売状況 | 13 件 |

問 輸出についての取り組みについて教えてください



問 有機（オーガニック）茶商品について教えてください。



⑤ その他

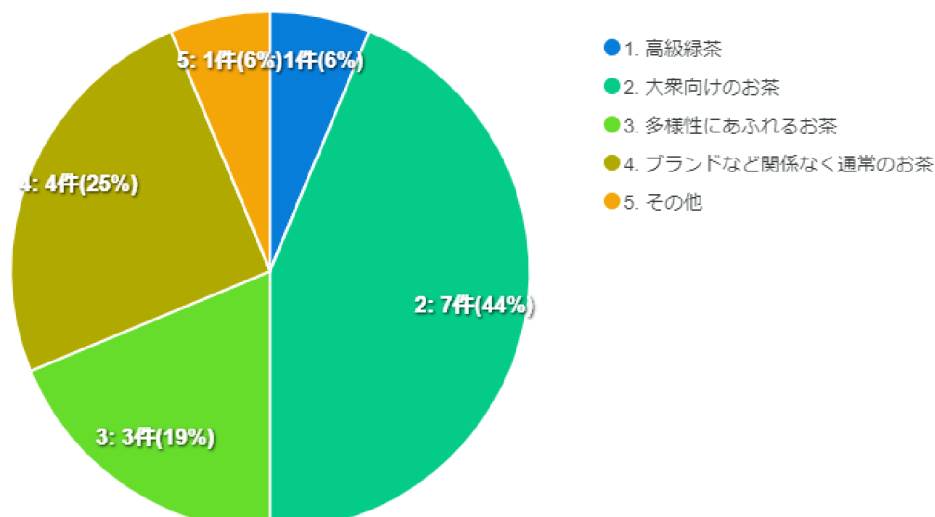
- 無農薬商品を取り扱っている。有機（オーガニック）の認定を取得していないため

問 お茶の販売について、どのような手段を活用していますか？(複数回答可)

- | | |
|----------------|------|
| ① 店舗販売（自宅を含む） | 9 件 |
| ② インターネット | 11 件 |
| ③ 折込チラシ | 5 件 |
| ④ ダイレクトメール | 10 件 |
| ⑤ イベント出展 | 6 件 |
| ⑥ デパート、スーパーへの卸 | 6 件 |
| ⑦ 特にない | 2 件 |
| ⑧ その他 | 2 件 |

- 小売店への販売

問 静岡牧之原茶のブランドイメージは何かと思いますか？



問 ご希望する展示・商談会等に参加を希望する場合、どのようなジャンルを希望されますか？

- | | |
|---------------------------|-----|
| ① 多様なジャンルのバイヤーが来場する展示・商談会 | 9 件 |
| ② ホテル関連のバイヤーが来場する展示・商談会 | 3 件 |
| ③ スーパー関連のバイヤーが来場する展示・商談会 | 6 件 |
| ④ 飲食店関連のバイヤーが来場する展示・商談会 | 3 件 |
| ⑤ お茶等飲料関連のバイヤーが来場する展示・商談会 | 4 件 |
| ⑥ その他 | 2 件 |

- 飲料化して販売拡大
- お茶の美味しいことを伝える

問 静岡牧之原茶を普及するには何が必要と思いますか？（複数回答可）

- | | |
|-----------------------------------|------|
| ① 子ども達がお茶と触れ合える機会を増やす。 | 12 件 |
| ② 在住外国人がお茶と触れ合える機会を増やす。 | 2 件 |
| ③ 交流都市と連携し、お互いの農産物の長所を伸ばす。 | 5 件 |
| ④ 県内外の茶産地で連携し、情報交換しながらお互いの長所を伸ばす。 | 2 件 |
| ⑤ インフルエンサー（影響を与える人）を活用する。 | 10 件 |
| ⑥ ウェブやSNSなどを活用する。 | 5 件 |
| ⑦ その他 | 2 件 |

- 海外に向けてのPR
 - 毎日、市民全員急須でお茶を飲む

問 静岡牧之原茶を普及のため適当と思われるイベントは何かと思いますか？
（複数回答可）

- | | |
|--------------------------------|------|
| ① お茶を飲んだり、淹れたりすることを体験できるイベント | 13 件 |
| ② 茶畑で茶摘みや農業体験ができるイベント | 7 件 |
| ③ お茶はがきデザインコンテストなど、コンテスト的なイベント | 3 件 |
| ④ 物産展などのイベント | 8 件 |
| ⑤ その他 | 1 件 |

- 海外向けにPR

問 茶業経営を維持するため、茶業以外に検討が必要なのは何かと思われますか？
（複数回答可）

- | | |
|-------------------|------|
| ① お茶のフェアトレードの実施 | 2 件 |
| ② 茶園景観を観光資源としての活用 | 10 件 |
| ③ 二酸化炭素排出権を創出して活用 | 2 件 |
| ④ 複合経営（転作）の実施 | 8 件 |
| ⑤ その他 | 1 件 |

問 その他ご意見があればお願いします。

- 他産地にはない牧之原茶の特徴をアピールする。